

ニッカンよ4み3ご5ろ6情報 掲載お問い合わせ 0120-81-4356 毎日掲載

WEBやネットの面接・筆記試験も

地域

就職戦線①

3月1日から2021年度向け新卒者就職説明会が解禁となった。転換期を迎えつつある就職戦線の現状について、人事採用コンサルタントで駒大経済学部非常勤講師の川村稔さん(58)にうかがった内容を3回にわたって紹介する。

全世界的に感染拡大が進む新型コロナウイルス。その影響で、大学や企業が開催する就職セミナーや説明会が中止となり、学生と人事採用担当者の双方が対応に苦慮している。川村さんは「採用試験の根本を見直すいい

機会かも知れない」という見方を示す。

危険回避のためには、ネットでセミナーや説明会を配信する方法がある。「自社で配信が難しい場合はアウトソーシングでもいいと思いますが、職種別に社員が語り掛けた方が、学生の心に響きますね」と川村さん。面接や筆記試験をWEBで行うことも推奨している。しかし、「WEB面接では『奥行き』が感じられない。最終的な面接は、安全に考慮して実際に会ってほしい」。筆記試験も「自社にとって、どのような人材が好ましいのかを再考した上で実施の有無を決めるべき」と説いている。次



駒大で講義を行う川村さん

回は大学側の実情を紹介する。川村さんは、自身のホームページで「失敗しない/新型コロナウイルス感染対策の採用/就職活動了カ条」を展開している(詳細はQRコードから)。



日刊スポーツ新聞「4356情報」  
2020.4月11日.12日.13日より

採用・面接アドバイザー(採用・面接コンサルタント)  
<https://kawamura-saiyou.com/>



ニッカンよ4み3ご5ろ6情報 掲載お問い合わせ 0120-81-4356 毎日掲載

バイト経験で問われる「何を学んだか」

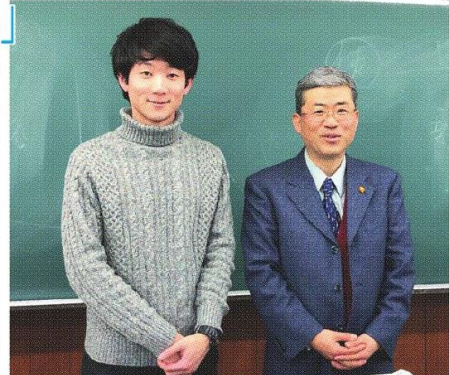
地域

就職戦線②

転換期を迎えつつある就職戦線の話、第2弾。人事採用コンサルタントで駒大経済学部非常勤講師の川村稔さん(58)は以前、面接官研修で会った約3000人の受講者から「欲しい人材」を聞いたところ、「自己肯定感がある」「仕事に意欲を持つ」「相手の意見を聞いて自分の意見を言う」「自分で考えて行動できる人」など、20項目を超える回答を得た。「求める人材像は、いつの時代も変わらない。大事なのは、なぜそのような人が採りたいのかという理由を明確にすること

なんです」と、川村さんは力説する。

一方、学生からは大手のレジャー施設やアパレル、コーヒーショップでのアルバイト経験が「就職に有利というのは本当?」などの質問を受けるという。川村さんは「どこでアルバイトをしたのかではなく、アルバイトを通して何を学んだのかが問われる。経験が無駄になることはありません」と、うわべだけの情報に踊らされる学生の実態を語った。「そのことに気付いていない学生はもちろん、それを説明できない周囲の大人たちも問題があると思います」。川村さんは、自身のホームペ



川村さん(右)と川村さんから指導を受けた伏見太樹さん

ージで、人事採用担当者側と学生側の双方の立場にたって、就職活動のアドバイスを展開している。詳細はQRコードから。



ニッカンよ4み3ご5ろ6情報 掲載お問い合わせ 0120-81-4356 毎日掲載

地域

「誰が就職するのか」

就職戦線③

転換期を迎えつつある就職戦線の話、第3弾。人事採用コンサルタントで駒大経済学部非常勤講師の川村稔さん(58)は、「大学も企業も、保護者向けのセミナーを実施するのが一般的になってきました」と現状を明かす。大学が運営する就職用ポータルサイトで、学生がどの企業にアクセスしたか、保護者が把握できるシステムを導入しているところもあるという。しかし、保護者が子どもに的確なアドバイスができていくかといえは、なかなか難しいのが実情らしい。

川村さんは続ける。「今の時代、入社時に保護者を出席させる企業も出てきました。例えば24時間体制の企業の場合、深夜帯や土日・祝日に勤務してもらうこともある。その事実を知ってもらうために、保護者を出席させるんです。中には、保護者向けの会社案内パンフレットを発行するところもある。保護者が子どもの就職先を決めることが主流になってきたようだ。少子化の影響で、子どもの就職に関わる人が多くなった。川村さんは「就活スタイルが変化していることは注目すべき点ですが、何をもちて人を採用するのか、誰が就職するのかという



面接官研修で全国を飛び回る川村さん(岡山県内)

大事な軸は忘れてはならないんです」と指摘する。川村さんは自身のホームページで採用・面接に関する情報を随時更新している。詳細はQRコードから。

